

## 健康日本2 1 清須計画（第2次）及び清須市自殺対策計画に関する実務者会議

この会議は市役所全課を対象とし「健康日本2 1 清須計画（第2次）」「清須市自殺対策計画」の目標と内容を共有し、計画の推進を目指すことを目的とする。

月 日	令和2年10月16日（金）第1部1：30～、第2部3：30～
参加者	庁内24課、社会福祉協議会・清須保健所 実務者27人
内 容	健康日本2 1 清須計画（第2次）、清須市自殺対策計画について 計画の説明と各課の進捗状況報告 【30分】 グループワーク：各課のとりくみを考える 【1時間】

### ■グループワークの内容

#### ① 自殺対策計画または自殺対策について、課で取り組んでいること、話し合ったこと

- ・コロナ関連で、給付金や生活資金の貸し付けにより、生活困窮者を把握でき、他の支援につなげることができている。
- ・納税等、業務上、市民を追い込んでしまう可能性もあるため対応に配慮している。
- ・死亡届の死亡理由で気が付き「遺族の方へ」という案内で相談先の啓発をしている。
- ・公園整備や散策路の管理、下水道の整備など、直接的には自殺対策に関わりはないが、市民の暮らす環境を整備することが、健康づくりや、こころの健康の推進につながっていることが分かった。
- ・直接的な支援に関係のない部署も、このように研修に参加し学ぶことで、気づきに変え、必要時相談先を紹介できる。→他課や他団体の業務内容を把握しておく

#### ② 職場のメンタルヘルスについて、貴機関又は個人で心がけていること

- ・気分転換やストレスの発散(周囲との雑談や休憩、コミュニケーションを積極的に)
- ・業務の偏りをなくし個人の負担を軽減する。
- ・自分の不調に気づくことが大事なので、研修で学ぶ。落ち込んだ時の対応を自分で知っておく。
- ・仕事で大変な時は声をかけるだけでなく、手伝ってほしい。落ち込んでいる時、自分からは言いにくいので、気づいて声をかけてほしい。

### ■総評 愛知県清須保健所 健康支援課 こころの健康推進グループ 山下 泰恵 様

健康計画、自殺対策計画を全庁的に取り組んでいる所は、県内でも少ない、とても重要なこと、互いに顔の見える関係を作り、継続していくことが大切。グループワークを通じ、職員同士の交流、他課業務の把握、スキルアップにつながる。

自殺者は令和元年には2万人、年々減少傾向にあったもののコロナ禍で急増する恐れ。県では7月、8月から増加傾向。特に、最近は一人親世帯の女性の自殺が増えている。

### ■まとめ

これまでは、忙しいのでチラシは渡せないといった部署もあったが、該当者に案内を渡したり、自分の部署でも啓発物があれば掲示できますよ、と提案があったり、計画に関係ない課も「つなげることならできる」と言われ、計画が少しずつ推進されているように感じる。また建設部や総務部などは自殺対策に直接関係ないと思われがちだが、計画の理解、ワークでの意見交換を通し、市民の健康的な生活を支えているという責任や、悩んでいる人がいたら担当部署へつなげる、といった感想が聞かれたことは非常に有意義だった。また他部署の仕事内容の把握や職員同士の交流ができて良かったという意見もあり、メンタルヘルスに限らず市民サービスは課を越えて連携することが望まれているため、良い機会であった。今後も各課と連携し、計画の推進に努めていきたいと考える。

